【　稲城市　】　胃がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	35～39歳
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	24,102	24,246	48,348
【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.2%】			
実際の受診者数	252	380	632

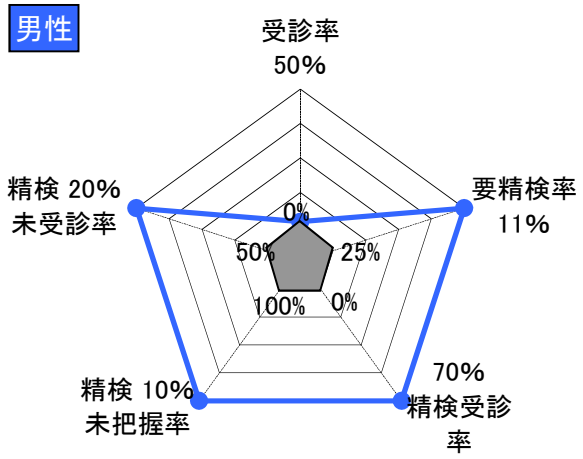
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

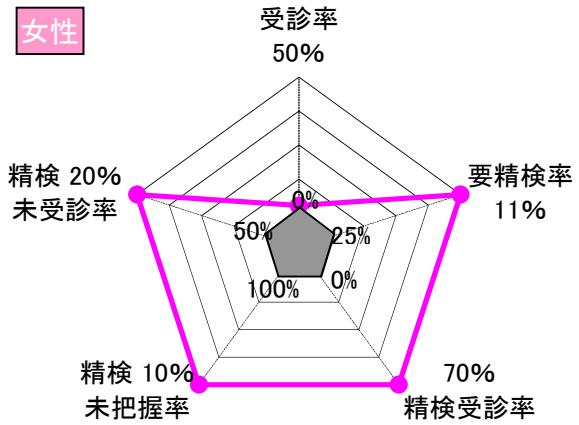
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	1.9%	2.8%	2.3%
要精検率	11%以下	4.0%	6.3%	5.4%
精検受診率	70%以上	90.0%	91.7%	91.2%
精検未把握率	10%以下	0.0%	8.3%	5.9%
精検未受診率	20%以下	10.0%	0.0%	2.9%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	4.2%	2.9%
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.26%	0.16%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

【　稲城市　】　大腸がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	24,102	24,246	48,348
【東京都調査による対象者率（市町村部）：59.6%】			
実際の受診者数	2,942	4,541	7,483

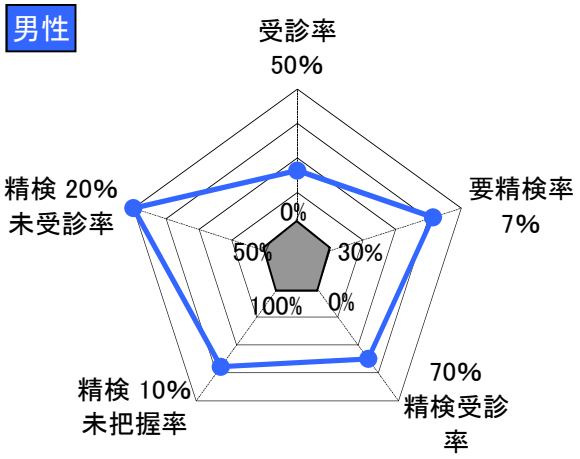
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

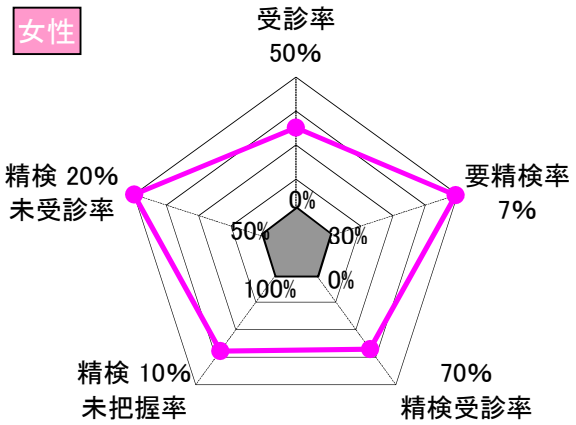
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	20.5%	31.4%	26.0%
要精検率	7%以下	12.0%	7.3%	9.2%
精検受診率	70%以上	43.8%	47.4%	45.5%
精検未把握率	10%以下	37.5%	37.5%	37.5%
精検未受診率	20%以下	18.8%	15.0%	16.9%
陽性反応適中度	1.9%以上	2.0%	3.3%	2.6%
がん発見率	0.13%以上	0.24%	0.24%	0.24%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

＜精検受診率＞
まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞
精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【　稲城市　】　子宮頸がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況＞

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

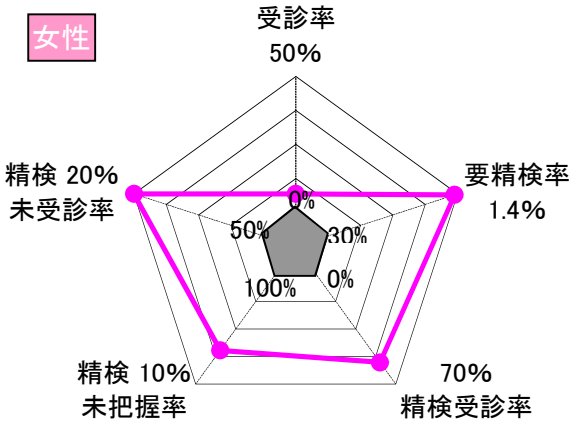
	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		34,462	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：60.4%】			
実際の受診者数		789	

＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		6.8%	
要精検率	1.4%以下		2.0%	
精検受診率	70%以上		56.3%	
精検未把握率	10%以下		37.5%	
精検未受診率	20%以下		6.3%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.0%	
がん発見率	0.05%以上		0.00%	



【評価結果】

＜受診率＞
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

＜精検受診率＞
まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞
精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【　稲城市　】　乳がん検診　平成27年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく乳がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

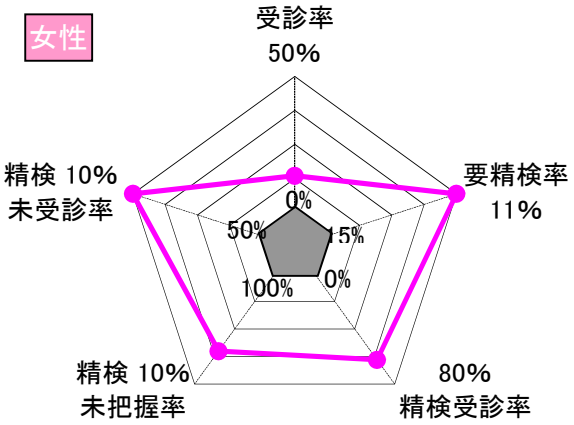
	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		24,246	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：63.9%】			
実際の受診者数		1,307	

＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		13.5%	
要精検率	11%以下		10.8%	
精検受診率	80%以上		62.4%	
精検未把握率	10%以下		36.9%	
精検未受診率	10%以下		0.7%	
陽性反応適中度	2.5%以上		2.8%	
がん発見率	0.23%以上		0.31%	



【評価結果】

＜受診率＞
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜精検受診率＞
まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞
精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。